

平成22年度 まちづくり懇談会 「小郡市のコミュニティ 分権ビジョン」

昨年11月に各小学校区の区長会と市との間で、「まちづくり懇談会」が開催されました。

まちづくり懇談会は、行政と地域の代表である区長会が共催で開催しており、小郡市のまちづくりの方向性を共有する場です。従来の「市政懇談会」から平成21年度に名称を改め、これからの小郡市のまちづくりをどのように進めていくか？という点について、意見交換を行いながら「市民との協働によるまちづくり」を進める上での具体的な課題を共有していくことを目的としています。そのため、個別課題テーマの設定は次の要件をもとに協議しています。

全庁的な「まちづくり」に資するための政策的な共通課題
事業として具体的に取り組める課題
ハード面整備を前提とするものではなく、現在のハード資本（インフラ、施設等）を最大限に活用していく観点で、ソフト（システム、制度等）人材育成の面からのアプローチを主とするまちづくり施策
区長会をはじめとする、市民全体で共通理解の得られる課題
昨年度のまちづくり懇談会では、「コミュニティ分権を目指したまちづくり」をテーマに、いくつかの先進的な事例を紹介しながら、新たな市民主体の地域自治の課題について話し合い、「区長業務の実態」や「具体的な市の構想を提示してもらいたい」などの意見をいただきました。昨年度に引き続き、さらなる意見交換を深めていくため、小郡市の「コミュニティ分権ビジョン」をテーマに設定し、具体的な内容やビジョンについて活発な意見交換が行われましたので、その内容についてお知らせいたします。



《はじめに…》

現在、各行政区では、地域内の清掃活動や祭り、レクリエーション活動など様々な自治活動に積極的に取り組んでいただいておりますが、区長業務の実態調査アンケートから、行政区が直面している次のような問題や課題がわかってきました。

- ・市民の価値観の多様化
- ・隣近所の助け合いなど相互扶助意識の低下
- ・昔ながらの地域コミュニティの崩壊
- ・役員への負担増大や担い手不足
- ・核家族化や都市化による自治会への加入率の低下

このような状況の中で、自治活動そのものが立ち行かなくなってきたり、地域自治の根幹である行政区の存続に危機感を持っています。

しかし、このような問題は、全国の自治体でも同じような問題に悩んでおり、住民主体の新たな地域自治のあり方を模索する動きが活発化しています。小郡市においても、新たな市民との協働による地域自治のあり方として、「コミュニティ分権によるまちづくり」を目指した検討を重ねていかなければならない時期にきています。

《「協働」って？》

「協働」とは、「市民や自治会、NPO、行政などが、自分たちのまちづくりを実現していくため、それぞれの役割分担のもと、互いに補い合いながら、パートナーとして対等・協力の関係で活動し、その成果を共有していく営み」とされています。公共サービスの提供を担うのは行政だけでなく、住民や自治会など多様な組織、団体によって担い、支え合っていかなければなり

ていきたいと思っています。」と語り、懇談会を締めくくりました。



《活発な意見交換》

まちづくり懇談会に参加された区長さんから、「現在の区長制度はどうなっていくのか？」「住民と行政が遠くなるのではないのか？」「草刈り等も、高齢化やコミュニケーションの希薄化が進み、できなくなっている。」「継続性が保てるのか？事務局機能や人的支援はあるのか？」「行政の下請けになるような組織では対等の関係が築けないので、同じ目線で協議していかねばいけません。」「人のつながりが大切」など、地元に着目した区長さんの意見が出され、市長と活発な意見交換が行われました。

○問い合わせ先 総務課協働推進係
☎ 72・2111 内線243

《どんな「まちづくり」？》



小学校区を単位に新たな地域自治組織を設置して、「地域コミュニティを中心としたまちづくり」を進めていくことで、次のようなまちづくりが実現できるのではないかと考えています。

①地域住民主体のまちづくり
地域コミュニティ協議会の自己決定・自己実現による魅力あるまちづくり活動を通じて、多くの市民・団

「これからの自治のかたち」



小郡市区長会会長
品田 紘司

今回の「まちづくり懇談会」では、小学校区を単位に新たな地域自治組織を設置して、「地域コミュニティを中心としたまちづくり」を進めることを基本とする、市提案の「コミュニティ分権ビジョン」が示され、それを基に区長さんと行政との活発な意見交換が行われました。

提案された内容はいずれを採りましても、まだまだ具体性に乏しく、やっと一歩を踏み出したばかりの状況ではないでしょうか。

今後のスケジュールで示したかった、平成23年度課題解消、同24年度モデル校区での実施構想はいかにも拙速のように感じました。

「これからの小郡市のまちづくりをどのように進めて行くか」と言う新しい制度設計です。じっくり取り組んでいただきたいと思います。

新制度への移行は前述のように時間を要するのではないのでしょうか。新制度設計と現行の区長への行政事務委嘱制度の見直し等も、同時進行で進めることもお考えいただければと思います。